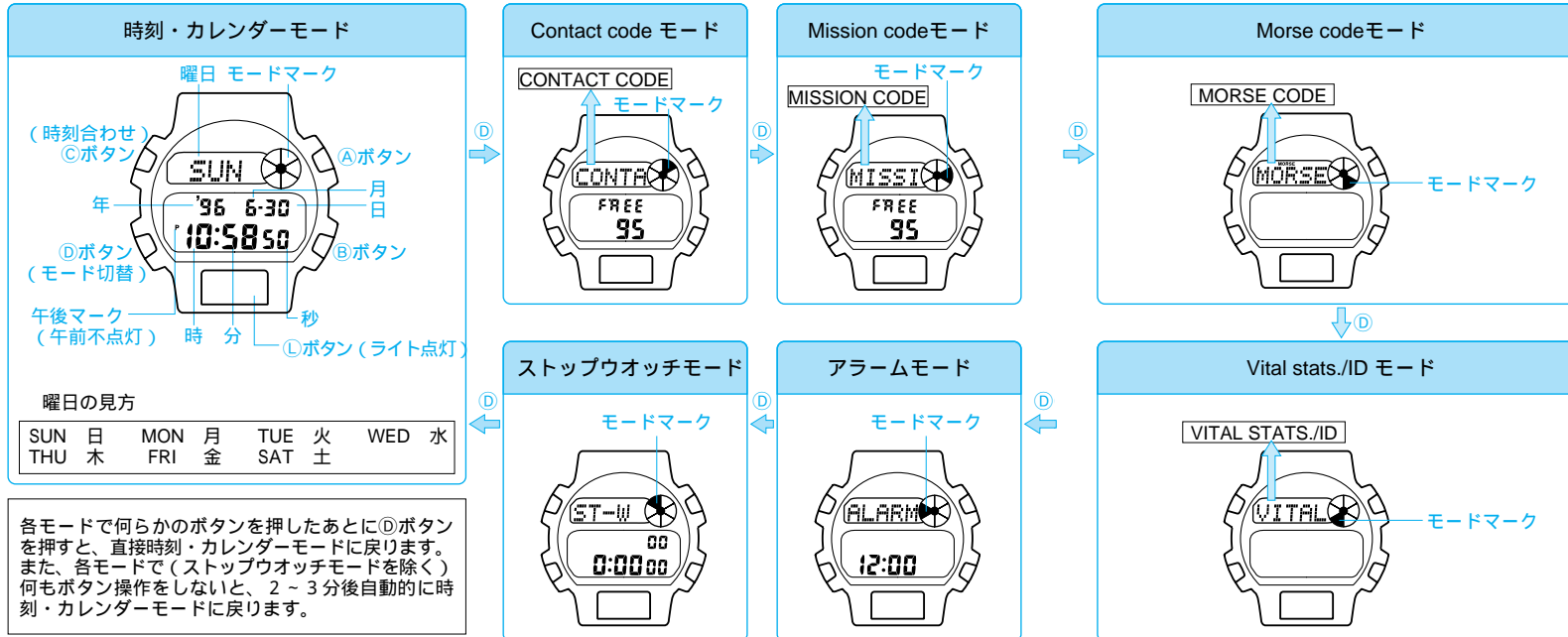


操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとにモードが切り替わります。



ライト点灯について

どのモードでも、④ボタンを押すと文字盤が約1.5秒間発光します。

Morse codeモードでのモールス符号表示中を除く。文字盤発光中に④ボタンを押すと、その時点から引き続き約1.5秒間発光します。ただし、④ボタンを1~2分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。



ご注意

直射日光下では、発光が見えにくくなります。発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

名前部、数字部の入力のしかた

名前部（文字）の入力

本機はContact codeモード、Mission codeモード、Vital stats./IDモードの名前部やメッセージ部、タイトル部に文字が入力できます。

Contact codeモードは最大8文字、Mission codeモードは最大11文字、Vital stats./IDモードはNAME部に最大16文字、クレジット・ライセンス・パスポート・フリーメモリーの名称部に最大8文字まで入力できます。入力できる文字は、カタカナ(ア～ン、ア・ツ・ヤ)などの小文字、() アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、記号(-、.、/、(、) 空白)です。

名前部入力時の表示

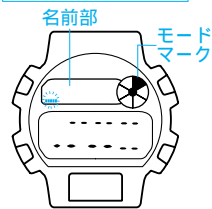
入力表示するには、各モードの「データ入力」をご覧ください。

ご注意とお願い

本機は、電話番号、パスポート、免許証、クレジットカードなどの大切な番号を登録/呼び出しすることができます。ただし、これらの番号を登録した時計を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用される恐れがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。なお、本機にクレジットカードなどの番号を登録する際は、他人にわからない形で入力することをおすすめします。

万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

Contact codeモード



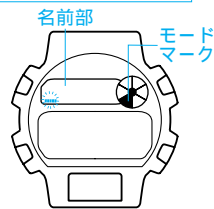
(11ページ)

Mission Codeモード



(13ページ)

Vital stats./IDモード
(例：NAME)



(18ページ)

名前入力のしかた

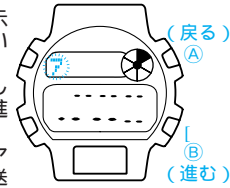
- (1) 各モードの名前入力表示のとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

点滅箇所に表示された文字は、入れたい文字を選びます。

Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。

カタカナは押し続けるとア段(ア カ サ...)で早送りができます。

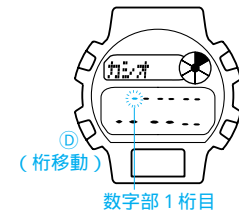
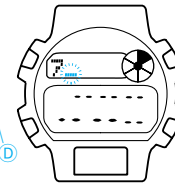


- (2) 文字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

点滅箇所が右に1つ移動します。

Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。



文字が点滅したまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

Contact codeモード(8文字)、Mission codeモード(11文字)、Vital stats./IDモード(NAMEは16文字、その他は8文字)のときは、すべて入力すると自動的に点滅箇所が数字部に移動しますので、引き続き数字部の入力ができます。

入力した文字が7文字/10文字/15文字以下のときは、名前入力後、Ⓓボタンを何回か押して点滅箇所を数字部に移動させます。

上記(1)～(2)を繰り返して名前を入力していきます。

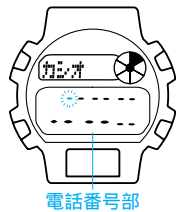
番号部 (数字) の入力

本機はContact codeモードの電話番号部とVital stats./IDモードの番号部に12桁まで、Mission codeモードに月・日・時・分の数字を入力できます。

番号入力時の表示

入力表示にするには、各モードでの「データ入力」をご覧ください。

例：Contact codeモード

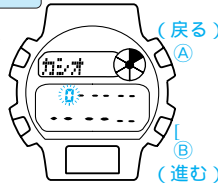


番号入力のしかた

(1) 各モードの番号入力表示のとき、

②または①ボタンを押します

点滅箇所に表示されますので、入れたい数字を選びます。
①・②ボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。

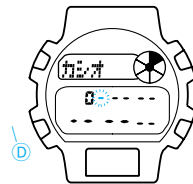


(例：Contact codeモードのとき)

(2) 数字を選んだら、

③ボタンを押します

点滅箇所が右に1つ移動します。
③ボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。



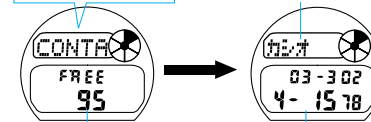
上記(1)~(2)を繰り返して番号を入力していきます。

数字が点滅したまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

Contact codeモードの使い方

④ボタンを押してContact codeモードにします。Contact codeモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回最後に選んだデータを表示します。

CONTACT CODE



残りメモリー数

電話番号

“CONTACT CODE” がスクロール中に①・②・③ボタンのいずれかを押し続けると、すぐに名前と電話番号を表示します。

Contact codeモードとは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。本機は、名前8文字、電話番号12桁を最大100件*まで記憶できます。

*記憶件数は、「Mission codeモード」のデータと合わせて最大100件となります。(例えば「Mission codeモード」でデータを30件記憶しているときは、Contact codeのデータは最大70件まで記憶できます)

データを入力すると、名前順に並び変わりますので、データを探すときにたいへん便利です。(12ページ「データの呼び出し」)

データ入力

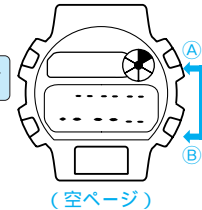
(1) 空ページを探す

①・②ボタンを同時に押します

空ページがないときは、名前部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。

Contact codeデータを消去するとき
12ページ参照

Mission codeデータを消去するとき
14ページ参照

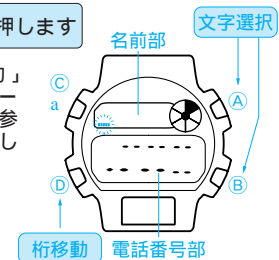


(空ページ)

(2) 入力表示にする

③ボタンを約1秒間押します

8ページ「名前部の入力」を参照して名前を、10ページ「番号部の入力」を参照して電話番号を入力します。



(3) 入力を終わる

③ ボタンを押します

点滅が止まり、入力したデータを表示します。

名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

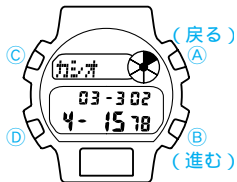
スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。

続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返し行ないます。

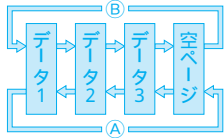
入力したデータは名前順に並び換えられます。

データの呼び出し

① または② ボタンを押します



③ ボタンを押すごとに名前順に進み、① ボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



データを3本入力しているとき

データの修正

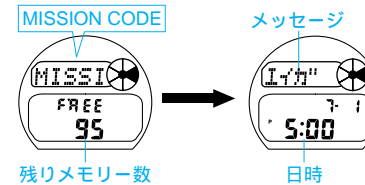
- (1) ① または② ボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) ③ ボタンを押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
- (4) 修正後、③ ボタンを押します。

データの消去

- (1) ① または② ボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) ③ ボタンを押して、入力表示にします。
- (3) ①・② ボタンを同時に押します。
確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去後、③ ボタンを押した後④ ボタンを押します。

Mission codeモードの使い方

④ ボタンを押してMission codeモードにします。Mission codeモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、現在時刻に一番近い未来のスケジュールが表示されます。



“MISSION CODE” がスクロール中に①・②・③ ボタンのいずれかを押すと、すぐにメッセージと日時を表示します。

Mission codeモードとは

メッセージ(スケジュール)とその日時を同時に記憶し、セットした日時になると電子音とメッセージで知らせてくれる機能です。

電子音は20秒間、メッセージはスクロール表示で25秒間行なわれます。

本機は、メッセージ11文字と日時を100件*まで記憶できます。
*記憶件数は「Contact codeモード」のデータと合わせて最大100件となります。

(例えば「Contact codeモード」でデータを30件記憶しているときは、Mission codeのデータは最大70件まで記憶できます) また、データを入力すると、日時の順に並び変わります。

データ入力

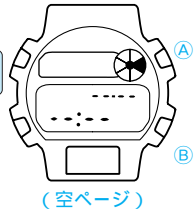
- (1) 空ページを探す

② または① ボタンを押します

空ページがないときは、メッセージ部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。

Contact codeデータを消去するとき
12ページ参照

Mission codeデータを消去するとき
14ページ参照



(空ページ)

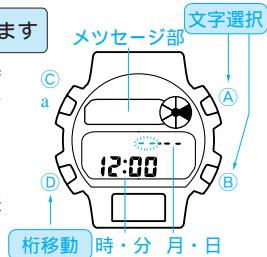
FULL

- (2) 入力表示にする

③ ボタンを約1秒間押します

10ページ「番号部の入力」を参照して月・日・時・分を、8ページ「名前部の入力」を参照してメッセージを入力します。

基本時刻を24時間制にしているときは、Mission codeモードの時刻も自動的に24時間制表示になります。



(3) 入力を終わる

◎ボタンを押します

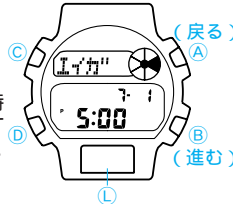
メッセージを6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返して行ないます。入力したデータは日時(月・日・時・分)の順に並び換えられます。

- ・スケジュールをセットできるのは、現在日から1年間です。(今日が6月30日のとき、翌年の6月29日までセットできます。)
- ・スケジュールは必ず「月日時分」を入力して下さい。月日が--月--日--のときは、スケジュールとして記憶されません。

データの確認(呼び出し)

ⒶまたはⒷボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに日時順に進み、Ⓐボタンを押すごとに逆方向に戻ります。いずれも押し続けると早く進みます。



鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときにいずれかのボタンを押すと止まります。一度押すと電子音が止まり、もう一度押すとメッセージも止まります。

データの修正

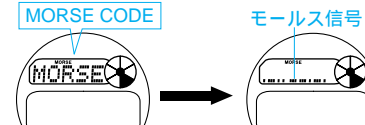
- (1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) ◎ボタンを押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
- (4) 修正後、◎ボタンを押します。

データの消去

- (1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) ◎ボタンを押して、入力表示にします。
- (3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。消去後、◎ボタンを押した後Ⓔボタンを押します。

Morse codeモードの使い方

Ⓔボタンを押してMorse codeモードにします。Morse codeモードに切り替えると、前回入力したモールス符号を表示します。



"MORSE CODE"がスクロール中にⒶ・Ⓑ・◎ボタンのいずれかを押すと、すぐにモールス符号を表示します。

Morse codeモードとは

カタカナやアルファベットからモールス符号へ、またその逆へ変換することができる機能です。このモールス符号を応用すると、仲間同士の暗号として使うこともできます。

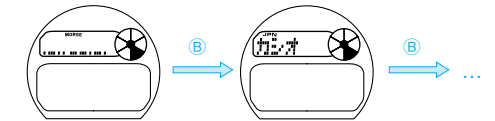
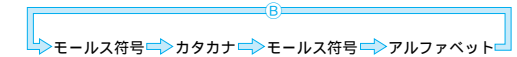
利用例 伝言メモとして
待ち合わせ場所や時刻をモールス符号で書く
例1)「公園」:
例2)「3時」:

本機に入力できる文字数はカタカナ/アルファベット/数字で16文字までを1件だけです。モールスコードとは、「トン・ツー」を組み合わせて信号にし、言葉を伝える連絡方法です。モールス符号は6符号で構成されるものもありますが、本機ではカタカナ・アルファベットに対応するため、5符号を最大として使用しています。

Morse codeは通信手段として使用できません。あくまでも変換機能としてお使いください。

モールス変換

Morse codeモードでⒷボタンを押すごとに、入力されている文字またはモールス符号が変換されます。モールス符号とカタカナアルファベットの対応は17ページをご覧ください。



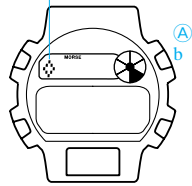
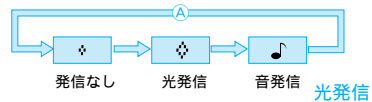
表示する文字が6文字以上のときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。(モールス符号は表示いっぱいでもスクロール表示します)スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。モールス符号がスクロール中にⒶボタンを押すと、スクロールを止めることができ、もう一度Ⓐボタンを押すと再びスクロールします。モールス符号のスクロール表示中に◎ボタンまたはⒺボタンを押すと、モールス符号を最初から表示します。モールス符号からカタカナまたはアルファベットに変換したときに、対応する文字がない場合は“ ”を表示します。モールス符号のスクロールは、スクロールするごとに2~3秒間停止します。

モールス運動 - 光と音の発信

モールス符号のスクロールに合わせて、光（ELバックライト）または音（電子音）でモールス符号を発信します。

発信(する/しない)の切り替えは、Morse codeモードで行ないます。

Morse codeモードで、モールス符号をスクロール表示後、2～3秒間停止しているときに、(A)ボタンを押します。押しごとに以下の順で切り替わります。



切り替えたあとは、モールス符号をスクロール表示しながら、1回だけ光または音を発信します。

光または音の発信に切り替えたあとに、カタカナやアルファベットに変換すると、光や音の発信は自動的に解除されます。

モールス符号の発信（光または音）のときにアラームなどの電子音が鳴った場合は、発信を中断します。

データ入力

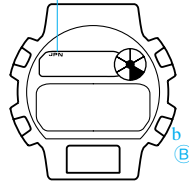
データの入力はカタカナ、アルファベット、モールス符号の3種類あります。カタカナ/アルファベットの入力の仕方は他のモードと同じです。

例)カタカナ入力(未入力)

(1) 入力を選ぶ

(B)ボタンを押します

(B)ボタンを押すごとにモールス符号(MORSE) アルファベット(A~Z) モールス符号(MORSE) カタカナ(JPN) ...と切り替わります。



(2) 入力表示にする

(C)ボタンを約1秒間押します

カタカナ、アルファベットの場合は8ページの「名前部分の入力」を参照して、入力してください。

モールス符号の入力は次のとおりです。

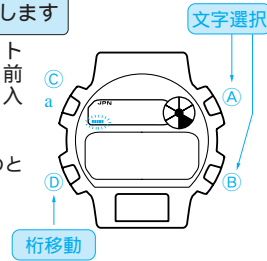
(A)ボタン：短音

(B)ボタン：長音

(D)ボタン：空白

(L)ボタン：一符号戻り

モールス符号の入力は1文字あたり5符号までですので、5符号入力後は(D)ボタンを押して次の文字の入力に移ってください。



(3) 入力を終わる

(C)ボタンを押します

点滅箇所が止まり、入力したデータを表示します。以後、15ページの「モールス変換」をご覧になり、変換してください。

モールス符号対応表

カタカナ	モールス符号	A-Z	カタカナ	モールス符号	A-Z
ア	- - - -		ホ	- . . .	D
イ	. -	A	マ	- . . . -	X
ウ	. . .	U	ミ	
エ	-		ム	-	T
オ		メ	-	
カ	L	モ	-	
キ	-		ヤ	. - -	W
ク	V	ユ	-	
ケ	-	Y	ヨ	- -	M
コ	-		ラ	S
サ	-		リ	- . .	G
シ	-		ル	-	
ス	-		レ	- - -	O
セ		ロ	
ソ	-		ワ	- . .	K
タ	- .	N	ヲ	- . . .	J
チ	F	ン	
ツ	P	(濁点)	. .	I
テ		(半濁点)	
ト		0	-	0
ナ	R	1	1
ニ	- . . .	C	2	2
ヌ	H	3	3
ネ	- . . .	Q	4	4
ノ		5	5
ハ	-	B	6	-	6
ヒ	-		7	-	7
フ	-	Z	8	-	8
ヘ	E	9	-	9

電波法令集 無線局運用規則 あり

データの修正

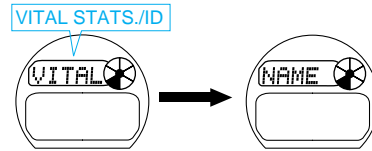
- ③ボタンを押して、入力表示にします。
- 修正したい部分まで点滅を送り、文字（符号）を修正します。
- 修正後、③ボタンを押します。
モルズ符号の修正はできません。一度①・②・③・④・⑤ボタンをいずれかを押してクリアしてから入力し直します。
アルファベット変換で対応する文字がない場合の“ ”表示を修正状態（点滅表示）にした後は、モルズ符号に変換したときに“ ”となり、元のカタカナには戻りません。

データの消去

- ③ボタンを押して、入力表示にします。
- ①・②ボタンを同時に押します。
確認音が鳴り、データが消去されます。
モルズ符号は、①・②・③・④・⑤ボタンをいずれかを押すだけで消去できます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- 消去後、③ボタンを押します。

Vital stats./IDモードの使い方

①ボタンを押してVital stats./IDモードにします。Vital stats./IDモードに切り替えると、“NAME”を表示します。



“VITAL STATS./ID”がスクロール中に①・②・③ボタンのいずれかを押すと、すぐに名前を表示します。

Vital stats./IDモードとは

自分の名前、血液型、誕生日、クレジットカード、免許証、パスポート、フリーメモリー（2件分）を記憶できます。
入力文字（数）
名前.....16文字
血液型.....RH式/A B O式
誕生日.....生年月日
クレジットカード、免許証、パスポート、フリーメモリー
.....名称8文字、数字部12桁

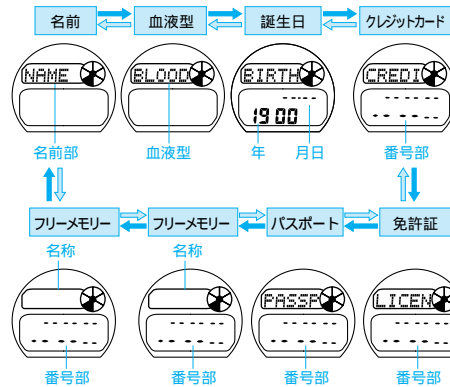
ご注意

Vital stats./IDモードには、自分のデータのみを入れてください。他人のデータを入れたり、自分のデータを入れた時計を他人に貸したりしないようにしてください。

各データの呼び出し

②ボタンを押します

②ボタンを押すごとに → の順に、①ボタンを押すと ⇐ の順に表示が切り替わります。

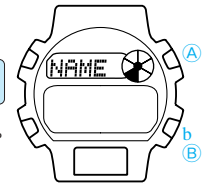


データ入力

(1) データを選ぶ

②または①ボタンを押します

入力したい箇所を選びます。①・②ボタンを押し続けると、早く送ることができます。



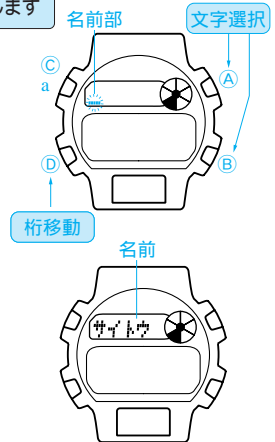
(2) 入力表示にする

③ボタンを約1秒間押します

名前部が点滅します。

8ページ「名前部の入力」を参照して名前を入力します。

入力表示のとき、①・②ボタンを同時に押すと、入力したデータが消されます。



“NAME”は名前を入力します。

“BLOOD”はRH式の+/-を、ABO式のA/B/AB/Oのいずれかを入力します。

RH式とABO式の入力は①ボタンを押して切り替えます。

RH式は、②ボタンを押すごとにRH+ RH- “-”

RH+...と表示され、①ボタンを押すと逆の順に表示されます。

ABO式は、②ボタンを押すごとにA B O AB “-” A...と表示され、①ボタンを押すと逆

の順に表示されます。

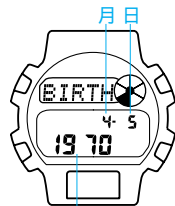
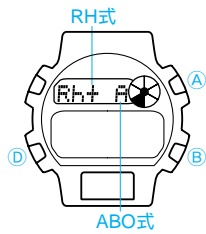
RH式とABO式の両方のデータが入っていないと、メモリーされません。

“BIRTH”は年・月・日を入力します。

年・月・日の入力はDボタンを押して切り替えます。年は西暦年で1900年～2039年まで選べます。

“CREDI”、“LICEN”、“PASSP”、フリーメモリーは名称と番号を入力します。

名称を入力したあとは、①ボタンを何回か押して番号部を点滅させ、入力します。



(3) 入力を終わる

③ボタンを押します

点滅が止まります。

名前を6文字以上、名称を8文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

データの修正

- ①または②ボタンを押して、修正したいデータを探します。
- ③ボタンを押して、入力表示にします。
- 修正したい部分まで点滅を送り、文字(符号)を修正します。
- 消去後、③ボタンを押します。

データの消去

- ①または②ボタンを押して、消去したいデータを探します。
- ③ボタンを押して、入力表示にします。
- ①・②ボタンを同時に押します。確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができません。
- 消去後、③ボタンを押します。

アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

準備：①ボタンを押してアラームモードにします。

- ③ボタンを約1秒間押します

「時」が点滅します。このときアラームマーク()が点灯します。



- ②または①ボタンを押します

②ボタンを押すと「時」が進み①ボタンを押すと戻りますので、セットしたい時刻を表示させます。

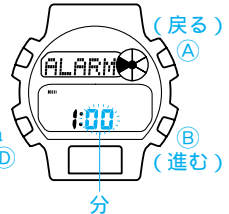
押し続けると早く進みます。



- ①ボタンを押します

「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にして①②・①ボタンを押して数字を選びます。



もう一度①ボタンを押すと「時」が点滅します。

(4) セットが終わりましたら、

ⓐボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。

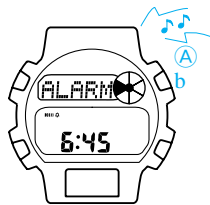
点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

モニターアラーム

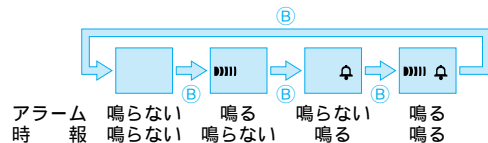
アラームモードのときにⓐボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。



アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：ⓐボタンを押してアラームモードにします。

ⓐボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯/不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

ストップウォッチの使い方

本機のストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

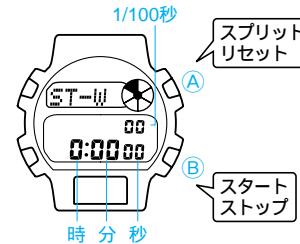
計測のしかた

準備：ⓐボタンを押してストップウォッチモードにします。

ⓐボタンを押すごとに計測開始/終了します

計測中にⓐボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度ⓐボタンを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。

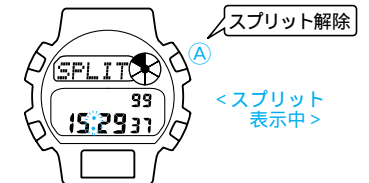


通常計測

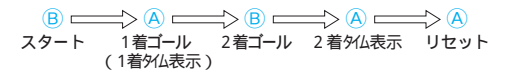


<積算計測>
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⓐボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム計測（途中経過時間計測）



1・2着同時計測



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

「秒」合わせ...±30秒以内の遅れ/進みの調整

時刻・カレンダーモードのとき

時報に合わせて、
①ボタンと②ボタン
を同時に押します

秒が「00」秒からスタートします。



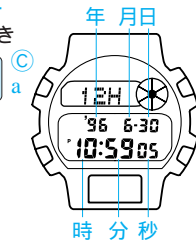
秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

「時刻・カレンダー」合わせ

(1) 時刻・カレンダーモードのとき

③ボタンを約1秒間押します

「秒」が点滅します。
秒が点滅しているときに②ボタン
を押すと、秒合わせができます。

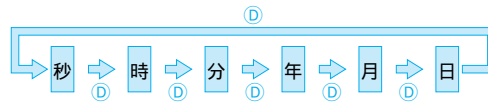


(2) 時刻・カレンダーを合わせます

a. ①ボタンを押します

点滅箇所が以下の順で移動
します。点滅箇所がセット
可能ですので、①ボタン
を押してセットしたい箇
所を選びます。

①ボタンを押し続けると早送りができます。



b. ②または①ボタンを押します

②ボタンを押すごとに点
滅箇所の数字が進み①ボ
タンを押すごとに戻りま
す。

②・①ボタンは押し続
けると早く進みます。



上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」
を合わせます。

「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。

「年」は西暦で1995～2039年の範囲内でセットできます。

「12/24時間制切り替え」は、表示が点滅しているときに①ボタンを押します。押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。
なお、Mission codeモードとアラームモードの時刻もここで選んだ時制で表示されます。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(3) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。